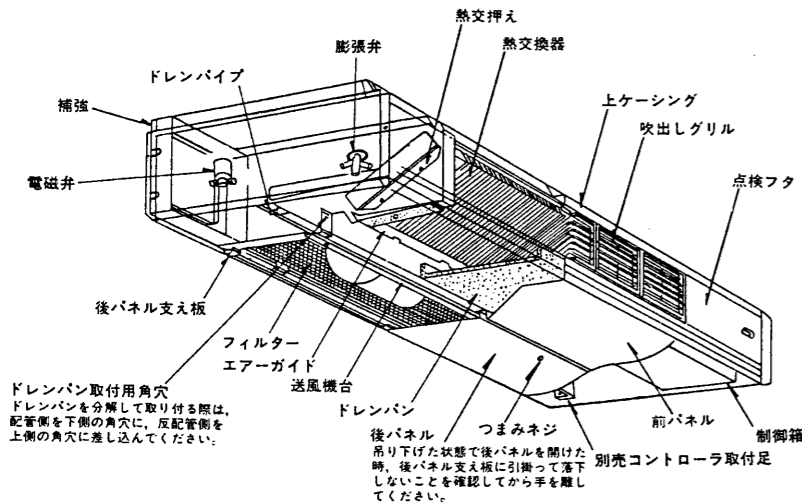
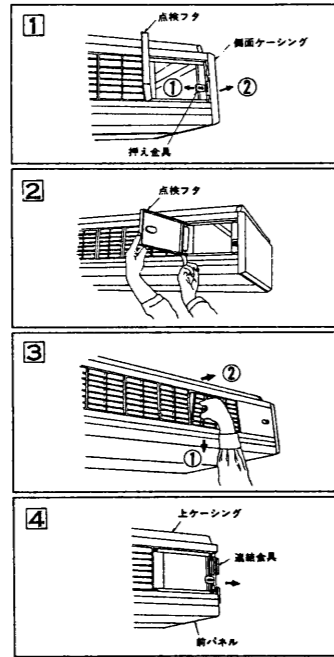


### 各部の名称



### 分解方法

- 側面ケーシング (図-①)
  - ①点検フタを開き、止めネジをゆるめ、押え金具をスライドしてください。
  - ②側面ケーシングを吹き出し側に引き抜いてください。
- 後パネル
  - ①つまみネジをゆるめて外してください。
  - ②後パネルを20°程度に開き後パネル支え板から抜いてください。
- 点検フタ (図-②)
  - ①点検フタを90°以上に開いてください。
  - ②軸支部の一方の腕を内側に押しと外れます。
- 吹出しグリル (図-③)
  - 吹出しグリルを下方に引き下げながら上部を手前に引いてください。
- 連結金具 (図-④)
  - 上ケーシングと前パネルに固定しているネジを外し、外側に抜いてください。
- 前パネル
  - フレームに固定しているネジを外してください。
- ドレンパン
  - 吹き出し側でフレームに固定しているネジを外してドレンパンを吹き出し側に引き抜いてください。



### ドレン配管の勝手変更方法

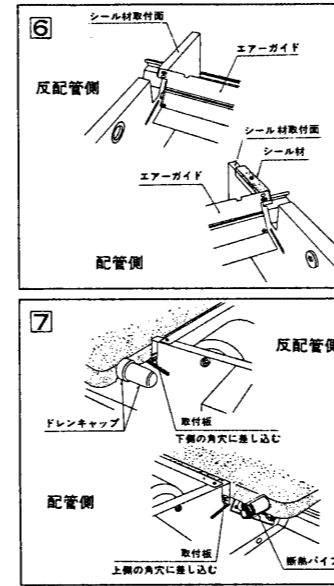
配管勝手の変更は次の要領で行なってください。

- 前項の各部の名称と分解に従って外装からドレンパンまで分解してください。
- エアガイドを熱交換器から取外してください。なお熱交換器を触る際には、フィンをつぶしたり、フィンで手を切らないようにご注意ください。
- 以下、エアガイド、ドレンパンを逆勝手にして分解と逆の順序で組立ててください。
- 組立てに際しては、次の事項を必ず確認してください。守られていない場合には冷風洩れによる結露事故、ドレンパン逆勾配による水洩れ事故の原因となりますのでご注意ください。

※エアガイドは配管側がフレームのシール材取付面より突出するように下側(室内ユニットを天吊り状態とは逆に寝かした状態)で固定する。反配管側はフレームのシール材取付面と同一高さになるように、上側の長穴で固定する。(図-⑥)

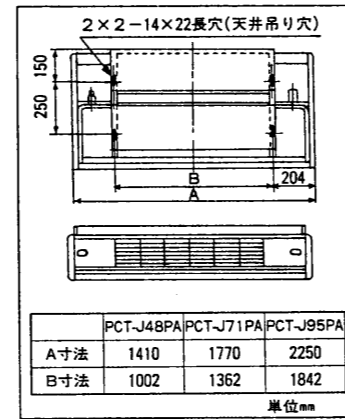
※ドレンパンの取付板を配管側は、フレームの2段の角穴の上側(室内ユニットを天吊り状態とは逆に寝かした状態)に、反配管側は下側の角穴に差し込んでください。(図-⑦)

これによってドレン勾配が確保されます。パネルを取付ける前に天井に吊った状態でドレンパンの配管側が低くなることを再度確認してください。また反配管側のドレンパイプにはドレンキャップを根元まで確実に差し込んでください。

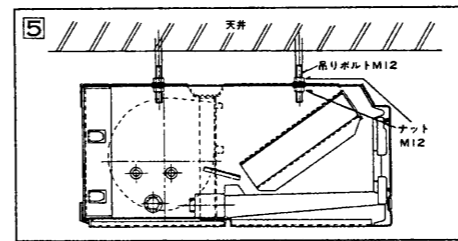


### 据付方法

室内ユニットは次の要領で吊り下げます。



- ①吊りボルトの設置  
建屋天井部に強固な吊りボルト(現地手配)を設置してください。
  - 1本当り50kg以上の引抜耐力を確保してください。
  - 吊りボルトサイズは、φ12 (M12ネジ) としてください。
- ②本体の吊り込み  
側面ケーシングを外して、室内ユニットを吊りボルトにしっかりと締めてください。

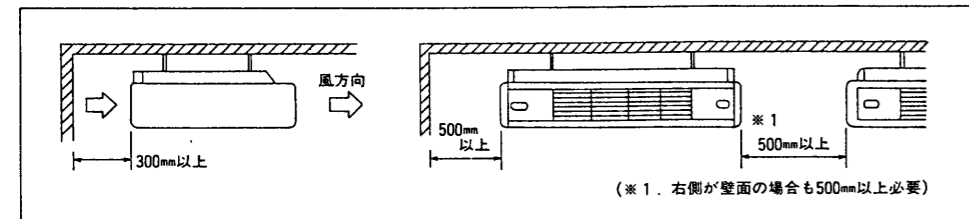


### 室内ユニットの据付場所

- 室内ユニットは、下記条件を考慮して据付位置を選定してください。
- 充分強度のある吊りボルト(一本に対して50kgの引抜き荷重に耐えられる程度)が設置できること。
  - 外気が直接本体に当たらないこと。
  - 吹出空気が部屋全体に行きわたること。
  - ドレン配管の下り勾配が1/100以上とれること。
  - 下図に示すサービススペースがあること。

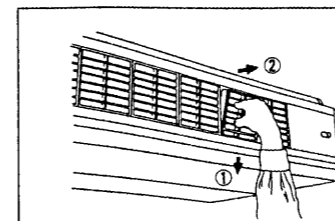
なお可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれのある所、油の飛沫や蒸気の多いところ、高周波を発生する機械の近く、水蒸気を多く発生する調理台の真上などに据付けますと、火災や、誤作動、露たれなどをおこしますので設置しないでください。

#### ■必要スペース

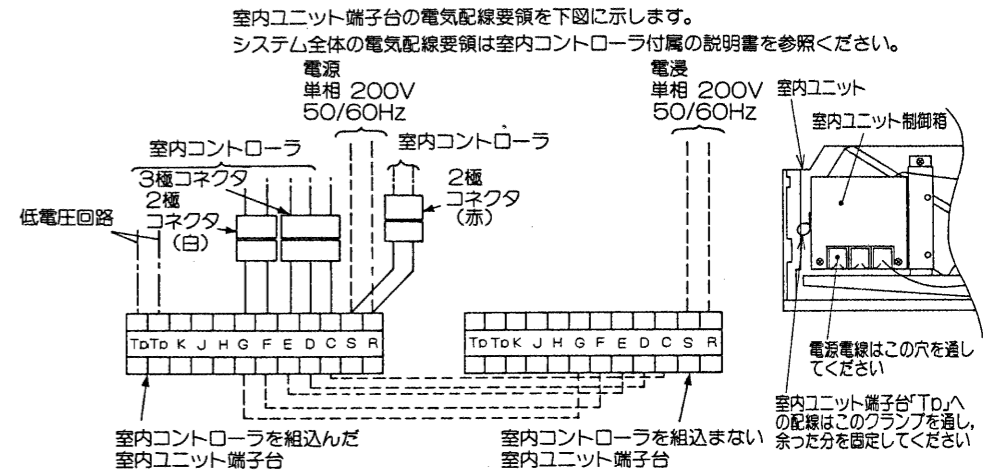


### 風向きの変え方

- 吹出しグリルは風向を四方に変えることができますので部屋の気流分布が最適になるように、吹出し方向を調節してください。普通の取り付けの場合には風方向を下向きにするのが適当です。
- 吹出しグリルは下方に引き下げながら、上部を手前に引いて外し向きを変えてセットしてください。



### 電気配線



- 実線で示す配線は、室内ユニット制御箱に付属しています。
- 一点鎖線で示す室内コントローラへの配線は、室内コントローラに付属しています。
- 破線で示す配線は、現地手配です。
- 室内ユニット端子台「ToD」へ接続する配線(2本)は、低電圧回路です。電気ノイズを受けないように他の200V回路の配線と離してください。

電気特性	PCT-J48PA			PCT-J71PA			PCT-J95PA			
	単相200V 50/60Hz									
定格出力	W	70	35×2	70×2	70	35×2	70×2	70×2	70×2	
入力	W	140/170	160/200	270/330	140/170	160/200	270/330	140/170	160/200	
電流	A	0.7/0.9	0.9/1.0	1.4/1.7	0.7/0.9	0.9/1.0	1.4/1.7	0.7/0.9	0.9/1.0	
電線太さ	mm <sup>2</sup>	2.0			2.0			2.0		
接地線太さ	mm <sup>2</sup>	2.0			2.0			2.0		
断り容量	A	15			15			15		

### キャピラリーチューブの取付

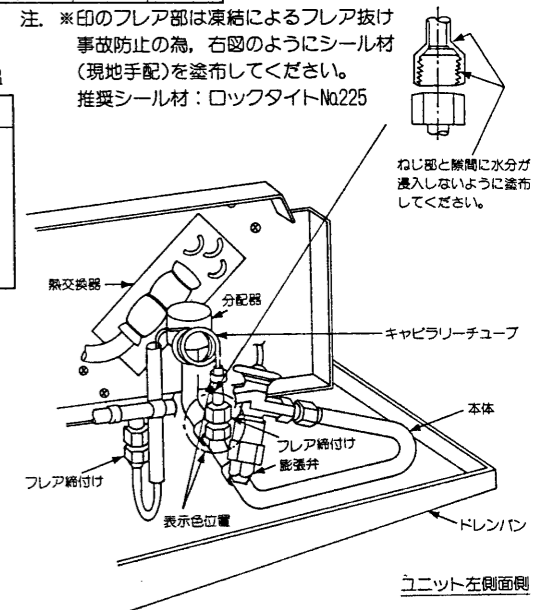
下表に示す組合せでご使用の場合は膨張弁の容量を補うため付属のキャピラリーチューブを接続する必要があります。それ以外の組合せ及び室温では、取付けなくても構いません。尚、機種によりキャピラリーチューブのサイズが異なりますので、キャピラリーチューブと本体の表示色が同じことを確認して取付けてください。

室内・室外ユニット各形名の馬力一覧表	2	3	4	5	8	10	15	20
馬力(kW)	2	3	4	5	8	10	15	20
室内ユニット	PCT-J48	PCT-J71	PCT-J95	PCT-J125	PET-J190	PET-J250	PET-J375	—
室外ユニット	—	—	—	PUTF-J125	PUTF-J190	PUTF-J250	PUTF-J375	PUTF-J500

・付属キャピラリーチューブ取付必要組合せ及び室温

室外ユニット容量	室内ユニット合計容量	室温
5馬力	4馬力以下	DB20°C 以上
8馬力	5馬力以下	
10馬力	8馬力以下	
15馬力	10馬力以下	
20馬力	15馬力以下	

機種	表示色
PCT-J48・71PA	黄色
PCT-J95PA	青色



### お手入れ

- フィルタが目づまりしますと冷却効果が悪くなり、運転音が大きくなります。2週間に1度位の割合で水または40°C以下のぬるま湯で洗って清掃してください。フィルタは本体の後側に差し込んでありますので、取手を持って上に持ち上げてから手前に引き抜いてください。(図-⑧)
- ドレンパンの汚れがはなだしくなると、ドレンの排水をさまたげ、また衛生上良くありませんので、ドレンパンの清掃を行なってください。
- 外装が汚れましたら中性洗剤を浸した布で汚れを拭きとってから乾いた布で水分を拭きとってください。シンナー、ベンジン等は、絶対に使用しないでください。色があせたり、ツヤがなくなることがあります。

